



# 持続可能な地域社会の実現に向けて ～SDGs未来都市 しもかわ～

2020.9.18

下川町政策推進課 SDGs推進戦略室







# 危機や困難に挑戦し続ける“しもかわイズム”

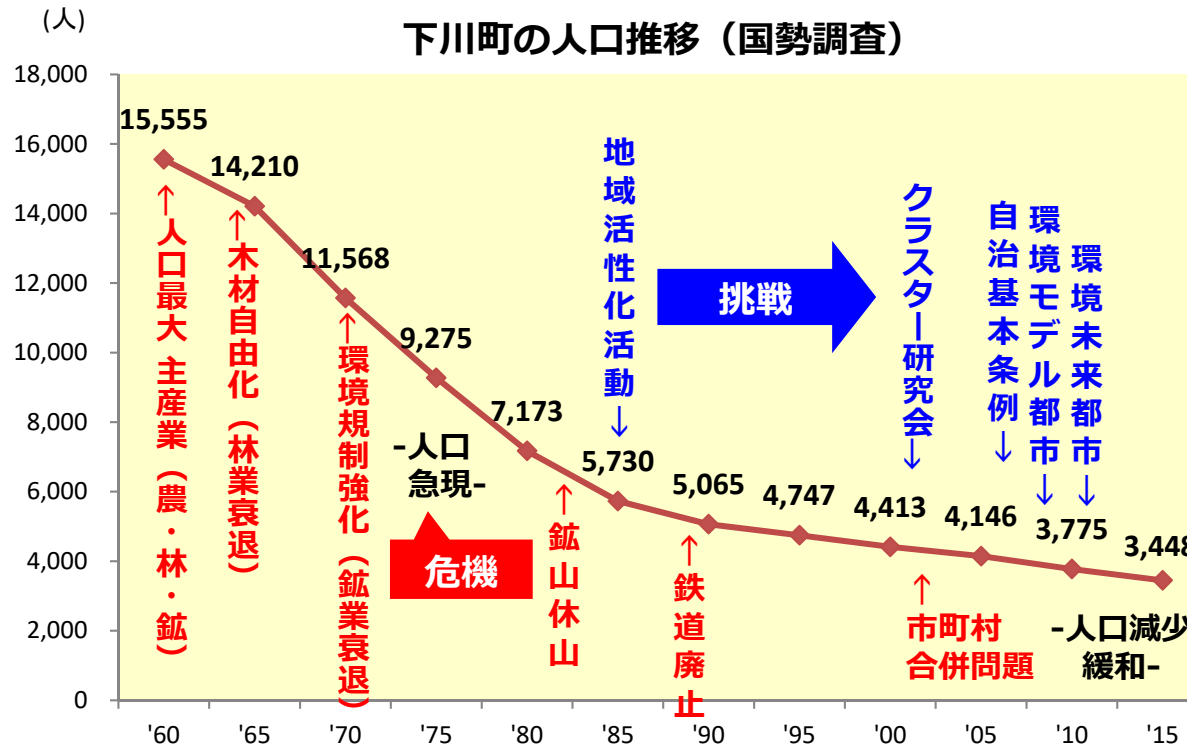
1901年 岐阜県から入植



林業・木材加工業



鉱業（金・銅）





# 持続可能な地域社会の実現に向けて

- ✓'01年～「経済・社会・環境の調和による持続可能な地域づくり」（産業クラスター研究会）
- ✓'07年～下川町自治基本条例に「持続可能な地域社会の実現を目指す」ことを前文に位置付け
- ✓'08年～環境モデル都市（環境）
- ✓'11年～環境未来都市（経済×環境×社会） ※横浜市・北九州市・富山市・柏市・下川町など

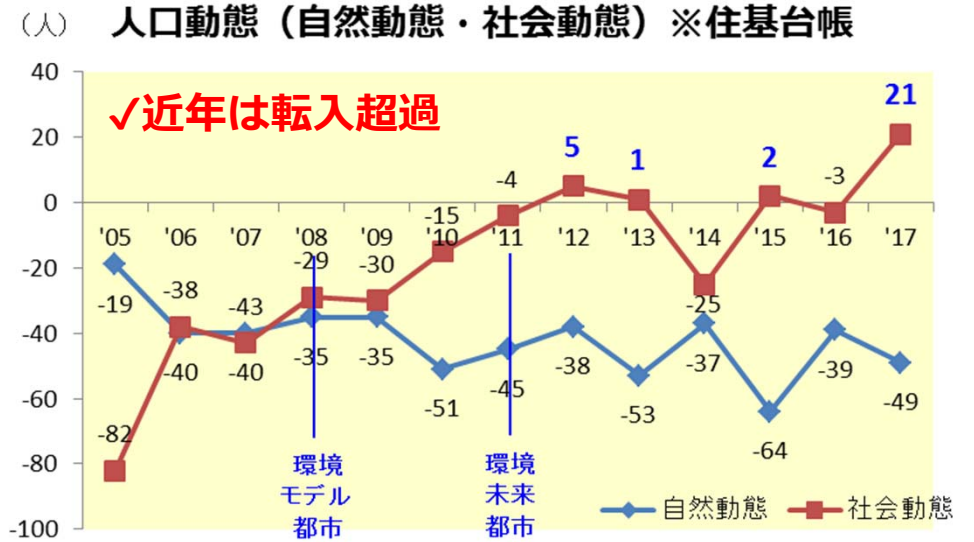
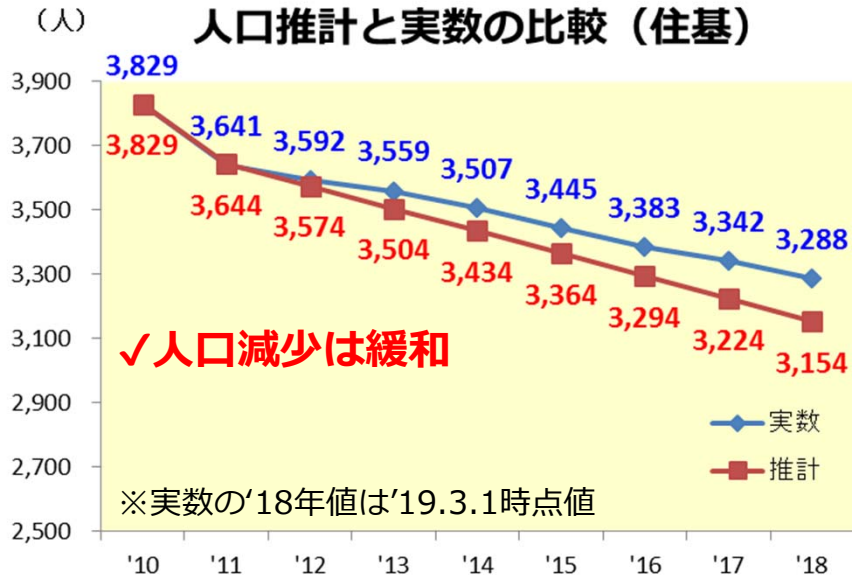
## 【コンセプト】

経済・社会・環境の3側面の価値創造、統合的解決（=SDGs）に約20年間取組み

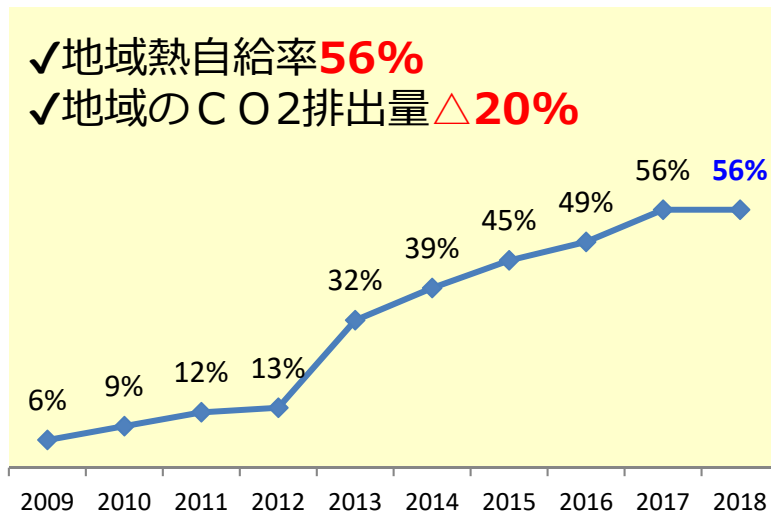




# 近年の傾向



## 地域熱エネルギー自給率※町調査



## ＜活躍する移住者たち＞

(株) フブの森

NPO法人 森の生活



林業×チェーンソーアート

木工作家







# 取組みと成果 2017年 第1回ジャパンSDGsアワード受賞

下川町が永きにわたり実直に取り組んできたこと、発展させていくこと⇒SDGs

2017年 第1回ジャパンSDGsアワード

2017.12.26

SDGs 推進本部長 (内閣総理大臣) 賞

北海道下川町

<2018年度第2回>  
(株)日本フードエコロジーセンター  
ほか14団体  
  
<2019年度第3回>  
魚町商店街振興組合  
ほか10団体

SDGs 推進副本部長  
(内閣官房長官) 賞

- ・ NPO法人しんせい
- ・ パルシステム生活協同連合会
- ・ 金沢工業大学

SDGs 推進副本部長  
(外務大臣) 賞

- ・ サラヤ株式会社
- ・ 住友化学株式会社



SDGsパートナーシップ賞 (特別賞)

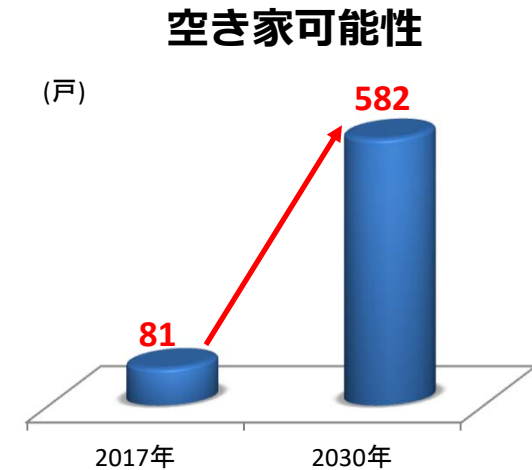
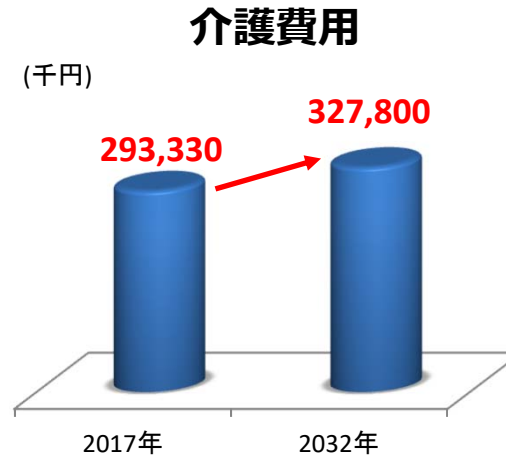
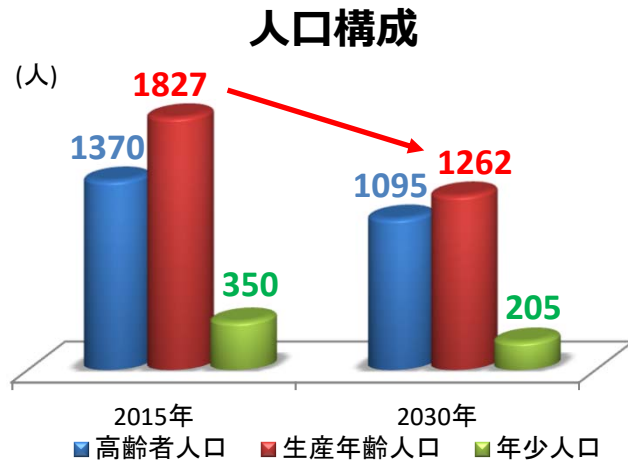
- ・ 吉本興業株式会社
- ・ 株式会社伊藤園
- ・ 江東区立八名川小学校
- ・ 国立大学法人岡山大学
- ・ 公益財団法人ジョイセフ
- ・ 福岡県北九州市





# 現在の経済社会構造で持続できるか??

<現在→2030年ごろ（11年後）>



【社会面の将来課題】 人口：3200人→**2400人**（'30） 高齢化率：40%→**43%**（'30）

子供の1学年平均（14歳以下）：23人→**13人**（'30）

- ✓ **高齢者世帯**（単身・夫婦）や**生活弱者**（家事・買物・交通・除雪の困難者）の割合の増加
- ✓ **自治機能**の低下、**介護費用**の増加、**空き家・空き地**の大量発生
- ✓ 子どもの**教育環境**（学習塾、習い事、スポーツ等）の縮小

【経済面の将来課題】 生産年齢人口：△**30.9%**

- ✓ **地域経済と雇用**の縮小
- ✓ 事業経営者や従事者の**後継者・担い手不足**による廃業
- ✓ 商店等サービス業の減少に伴う**住民生活基盤**の縮小

2030年まで僅か10年  
待ったなし！！



# 2030年における下川町のありたい姿

# 下川版SDGs

2018.4.23







# “下川版SDGs”実現のための“打ち手”

## 経済

### “循環型経済”を創る

- 林業の川上～川下のシームレス産業化
- 地域経済循環システム構築
- 多様な人材登用、生産効率向上に向けた先端技術導入実証
- 農産物の地域循環型流通システム

など



## 社会

### “住み続けられるまち”を創る

- 中心市街地居住環境計画、健康省エネ住宅の推進
- 未来人材育成システム構築
- 医療介護福祉連携強化
- 除雪システム高効率化、レジリエンス強化
- 町民参加推進

など



## 環境

### “脱炭素社会”を創る

- 森林バイオマス利用拡大
- 一の橋バイオビレッジ 脱炭素コミュニティ
- 省エネ家電レンタルシステム構築
- ゼロエミッションとエシカル消費促進

など



## 実施支援

統合的取組  
経済×社会×環境

### SDGsパートナーシップセンター（SDGs-PC）拠点構築

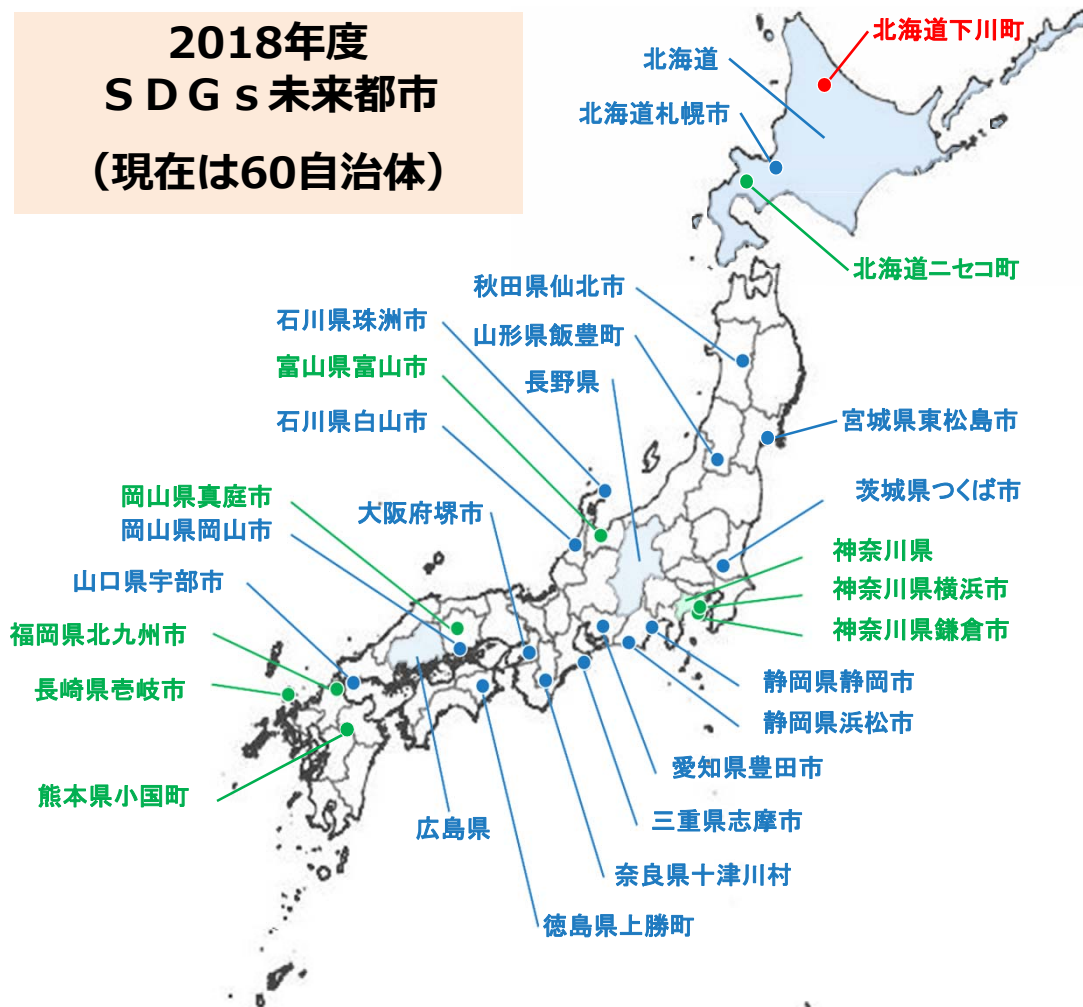
地域内外の人・企業・団体等との共創により社会課題を解決  
“自治体SDGsモデル”を国内外へ展開（共創と展開の拠点）



# SDGs 未来都市 ありたい姿+打ち手が中核

- 政府は、自治体によるSDGsの達成に向けた優れた取組を提案する**29都市**を「SDGs未来都市」として選定
- 特に先導的な**取組10事業**を「自治体SDGsモデル事業」として選定

2018年度  
SDGs未来都市  
(現在は60自治体)



2018.6.15

## 自治体SDGsモデル事業

北海道ニセコ町

北海道下川町

神奈川県

神奈川県横浜市

神奈川県鎌倉市

富山県富山市

岡山県真庭市

福岡県北九州市

長崎県壱岐市

熊本県小国町

※都道府県・市区町村コード順



# 下川町のSDGs認知度・普及啓発活動



地域イベント（うどん祭り）にて認知度調査  
2019.8.31-9.1

ハロウィーンにて高校生企画のSDGsおみくじ  
2019.10.31

n=177人（住民の約5%）

①SDGsを説明できる	37.9%	
②SDGsの17目標を知っている	32.2%	
③SDGsという言葉聞いたことがある	24.3%	<b>95%</b>
④SDGsを始めて聞いた	5.6%	

全国：27%  
2019.8.1-2 朝日新聞調査

＜高齢者と小学低学年  
の認知度が低い

※企画：下川SDGs推進アンバサダー 清水瞳（慶応大学院）

協力：下川SDGs推進アンバサダー 和田恵（慶応大学SFC研究所上席所員）、大貫萌子（慶応大学）



人と自然を未来へ繋ぐ「しもかわチャレンジ」



多様な人々との“共創”により実現



“挑戦”しつづけるまち・しもかわ